

# ワークショップ

## 『降雪に関するレーダーと数値モデルによる研究(第9回)』

日時： 2011年2月22日(火)－23日(水)  
場所： 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター  
大会議室（新潟県長岡市）  
<http://www.bosai.go.jp/seppyo/>

キーワード： 「降雪粒子の特徴とレーダー観測」

主旨： 雪氷災害の予測のためには正確な降雪量予測が要求されるが、そもそもその検証としてのレーダー降雪観測も、量と場所の精度を上げるのは容易ではない。その最大の理由は降雪粒子の複雑な形状であり、それがレーダー観測値から物理量を求めることを難しくしている。また、雪雲のふるまいは陸風や海上の収束線や水平・鉛直シアーに影響されるが、集中豪雪の要因と考えられる収束線の停滞に対流系としての雪雲がどのように関与しているのか、シアーに関係して様々なスケールで観測される渦はどのような働きをしているのか、まだ事例解析を重ねる必要があるのが現状である。今回は、降雪粒子の詳細な観測、モデリングと、それに関連するレーダー等の観測について最新の話題を集め、降雪粒子の特徴とレーダーを中心とした観測により解明されてきたこと、及び今後解決すべき課題について議論する場としたい。

### ◆◆プログラム◆◆

2月22日(火)

路線バス： 長岡駅東口6番線12:20 → 前山町入口12:35

13:10-15:15

主催者あいさつ、事務連絡

セッション1：降雪粒子とレーダー観測

石坂雅昭(防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)

降雪の特徴把握とその記述について

小西啓之(大阪教育大学)

種々の降雪強度計を用いた降雪粒子観測

石元裕史(気象研究所気象衛星・観測システム研究部)

降雪粒子のモデリング

岩波越(防災科学技術研究所 水・土砂防災研究部)

Xバンド偏波レーダーによる降水粒子判別

15:15-15:30

休憩

15:30-17:30

セッション1：(続き)

西橋政秀(アルファ電子/気象研究所)

庄内平野で観測された冬季雷雲の特徴  
幾田泰醇(気象庁予報部数値予報課)  
地上レーダー反射強度データを利用した気象庁メソ解析における  
1D+4DVAR

セッション2：降雪検証観測

清水収司(JAXA/EORC)  
Ka帯レーダを用いたGPM打上げ前降雪観測計画  
中井専人(防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)  
降水量検証のための地上降雪粒子観測

路線バス： 前山町入口18:00→ 長岡駅東口6番線18:21

19:00-

懇親会 長岡駅近くにて(会費制・要事前申込)

2月23日(水)

路線バス： 長岡駅東口6番線08:30 → 前山町入口08:40

09:10-11:10

セッション3：ドップラー観測

川島正行(北海道大学低温科学研究所)  
北海道沿岸に発生する帯状・渦状降雪雲の  
ドップラーレーダー観測と数値実験  
荒木健太郎(気象庁銚子地方気象台)  
2010年1月13日に新潟県に暴風雪をもたらしたメソβスケールの  
渦状擾乱の事例解析  
池田靖(気象庁新潟地方気象台)  
2010年2月4日新潟県海岸平野部の大雪の事例解析  
藤原忠誠(北海道大学大学院環境科学院)  
ドップラーライダーを用いて検出した都市域に発生するダストデビルの  
構造をもつ鉛直渦

11:10-11:30

総合討論

11:30-12:30

2mを越える積雪時でも稼働している雪氷防災研究センターの観測施設見学

路線バス： 前山町入口11:30→ 長岡駅東口6番線11:48

路線バス： 前山町入口12:50→ 長岡駅東口6番線13:15

★ご来場に当たっての注意 (特に積雪地域外の方へ)

==== 大雪になる可能性があります。====

- ・路線バスは、降雪の程度により遅れが出る可能性があります。
- ・JR在来線は、降雪の程度により遅れ、運休の可能性があります。
- ・上越新幹線が雪で遅れることはめったにありません。
- ・バスを降りてから研究センターまで、除雪された雪が道路両側にあり道が狭くなっていることがあります。また、車がスリップしやすいです。車に注意して歩いてください。
- ・車での移動は、通常よりも数10%増しでかかると考えてください。
- ・市内は排雪が間に合わない場合、車道と歩道間の雪壁が高く、見通しが悪くなっている可能性があります。

○アクセス： 新幹線/信越本線 長岡駅東口6番から